

# アルツハイマー病の新規治療薬 レケンビ(一般名レカネマブ)使用開始その後について

## 2023年12月発売の新規認知症治療薬

社会福祉法人聖隷福祉事業団が運営する総合病院 聖隷三方原病院(静岡県浜松市中央区/院長: 山本 貴道/以下、当院)は、2023年12月に発売されたアルツハイマー病の新規治療薬レケンビ(一般名レカネマブ)の治療を、2024年2月27日より開始しております。**2024年7月1日現在の投与実績として、12名の患者に計59回の投与を行いました。**

**レケンビは認知症の専門診療を適切に行えるための基準を満たした医療機関でのみ使用できる薬剤です。静岡県西部では認知症疾患医療センターである当院や、当センターと連携を取れる施設が該当します。**

高齢化にともない、認知症を発症する人は増え続けている中でアルツハイマー病に対する新規治療薬が発売されたということで、世間の関心も非常に高いため掲載をご検討いただくと幸甚に存じます。

取材頂ける際には、長年認知症疾患の治療に携わっており、多数の講演の経験がある磯貝 聡 センター長が対応させていただきます。

### レケンビ(一般名レカネマブ)について

レケンビ(一般名レカネマブ)は、脳内のアミロイドβタンパク質を除去し、認知症の進行を抑制する画期的な薬です。対象はアルツハイマー病による軽度認知障害や軽度の認知症患者で、専門医療機関でのみ使用が可能です。アルツハイマー病はアミロイドβが脳内に蓄積し、神経細胞が障害されることで認知機能が低下する疾患です。従来の認知症薬は症状の改善を目的としていましたが、レケンビはアミロイドβを脳から除去することで病気の進行を遅らせる疾患修飾薬です。

治療を受けるには、まず専門医による診断と検査が必要です。治療は二週間ごとに点滴で行い、18ヶ月の治療が推奨されます。治療中は定期的なMRI検査が必要で、点滴の副作用や脳の負担に注意が必要です。治療費用は月約33万円で、保険適用後の自己負担額は負担割合に応じて約33,000円が99,000円となり、高額療養費制度が利用可能となっております。

### 認知症疾患医療センターとは

「認知症疾患医療センター」とは、認知症疾患における鑑別診断や専門医療相談、医療機関等の紹介、地域保健医療・介護関係者への研修や連携などを行う専門医療機関です。県内では、県11か所、静岡市3か所、浜松市1か所の合計15か所が指定されています。

当院は平成25年7月22日に基幹型認知症疾患医療センターの指定を受け、認知症の速やかな鑑別診断や、行動・心理症状(BPSD)と身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談、関係機関との連携、研修会の開催等の役割を担っています。



### ■ 治療薬について当院のホームページ紹介

当院のホームページにて、レケンビ(一般名レカネマブ)についての専用ページを公開しています。



**今回の内容について貴社で取り上げていただくと幸いです。**  
**取材を希望される場合は、下記問い合わせ先担当者までご一報いただければ幸いです。**

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先>

【聖隷三方原病院 総務課】 (静岡県浜松市中央区三方原町3453) 担当: 大隅,山本  
 TEL: 053-439-9050 / FAX: 053-438-2971 / mail: mk-hosp@sis.seirei.or.jp



社会福祉法人  
**聖隷福祉事業団**  
 SEIREI SOCIAL WELFARE COMMUNITY